

## 深川 市長と地域との懇談会

日 時：令和6年7月17日（水）  
午後7時から午後7時35分まで  
場 所：深川公民館  
参加者：30名

### 【内 容】

#### 市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進んでいる。
- ・分別が進んだので、燃えるごみの量が減ったが、ごみ全体の総量では前年から3%程の減少と大きく減っていないため、総量の削減に市民の皆さまと一丸となって取り組んでいきたい。
- ・分別を徹底するとともに、燃えるごみの中で一番多い調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に取り組みたい。

#### 市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- ・6月市議会にて、下水道料金の改定が議決された。
- ・下水道料金の料金改定は24年ぶりとなる。
- ・下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営が求められるところ、汚水処理する費用の約65%しか使用料で賄っていない。
- ・残りの35%は税金で補填している現状であり、下水道を利用していない方の税も含まれている。
- ・経費回収率は本来100%が求められるもの。今回の改定によって、尾張旭市、長久手市と同水準の経費回収率80%となる予定である。

#### 地域の課題：旧深川小学校の跡地活用について

- ・自治会の拠点となる場所がなく、現在も公民館を間借りしている。
- ・若いお母さんたちが働きやすいように0歳から小学校3年生程度の子どもを預けられる場所（保育園）があるとよい。
- ・公共施設の集約ということであれば、周辺道路の拡幅を考えてほしい。
- ・道路の拡幅には様々な意見がある。交通量を増やすのではなく、公共交通機関の利用や徒歩での利用を促進したいとの意見もある。
- ・高齢者が安心して集まれる場所がほしい。公民館では使えるスペースが限られる。
- ・高齢者と子どもなど多世代交流の場となるとよい。

- 旧深川小学校は瀬戸の中心であり、公共施設の集約だけでなく賑わいの創出にも活用できる。
- 旧深川小学校の建物はそのまま残すのか。活用方法は「21 世紀の深川をつくる会」で検討できるとよい。
- 京都の明倫小学校跡地活用のように、廃校となった教室にカフェなどの商業施設や、作家のアトリエ・チャレンジショップとして活用している先進事例がある。ツクリテの定着にもつながるのではないか。

地域の課題：その他

- 藤井聡太竜王・名人が瀬戸市内（岩屋堂、瀬戸蔵、旧山繁商店）で対局できるようにしてほしい。
- 老人憩いの家は今後どう活用するのか  
⇒現在、老朽化に伴い閉館している。今後については検討中。